

Mini-Deja'Vibe mkII User Manual



各コントロールについて

VOLUME	音量を調節します。12時の位置から±15dBのブーストカットが可能です。
INTENSITY	エフェクトの深さを調節します。ノブを時計回りに回すと深さが増し、反時計回りに回すと深さが減ります。
SPEED	エフェクトの速さを調節します。
CHORUS / VIBRATO SWITCH	[Chorus] デヴィッド・ギルモア、ロビン・トロワー、フランク・マリノ、ジミ・ヘンドリックスに最も関連する、瑞々しく水のように渦巻くサウンド。 [Vibrato] 上下にピッチを変化させるもので、「While My Guitar Gently Weeps」のレコーディングでクラプトンのギターに使われたのと同じエフェクト。
VINTAGE / MODERN SWITCH	[Vintage] ヴィンテージ・ユニヴァイブのようなウォーム・ボイス・プリアンプサウンド [Modern] ややきらびやかで存在感のあるサウンド
ON/OFF Footswitch	オン / オフを切り替えるスイッチです。

入出力について

INPUT	1/4" モノラル標準フォン入力端子
OUTPUT	1/4" モノラル標準フォン出力端子
External Pedal	1/4" TRS "ステレオ" 標準フォンケーブルを使用してエクスプレッション・ペダルを接続し、操作可能にします。

電源について

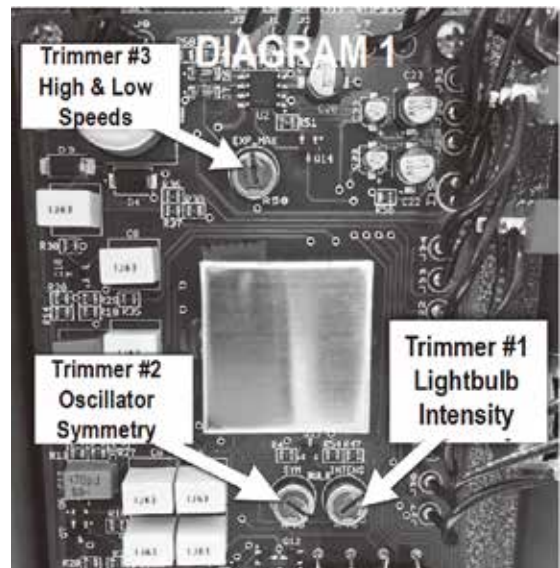
DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 18VDC センターマイナス 電源で動作します。

内部トリマーについて

内部には3つのトリマーがあり、最終テスト時に調整されます。万が一、調整が狂っても「工場出荷時の設定」に戻せるよう、マークは付いていますが、これらの設定を変更する必要はありません。不適切な設定は、貧弱なサウンドになったり、使用可能な全速度を達成できなくなる可能性があります。

※設定レベルによっては音が出ない、場合によっては製品破損につながる場合がございますので調整の際は少しずつ慎重に行ってください。



Trimmer #1 Intensity

電球に流れる電流の量を微調整し、ピッチベンドのビブラートとフェイシングの量を調節します。これは当店で設定したもので、触るべきではありませんが、(必要な場合は)回路の性質とライトバルブがサウンド全体に与える影響を理解している人のみが調整してください。Trimmerは、ゴム足を固定している4本のネジを外し、底板を取り外すことでアクセスできます。小型のマイナスイラストライバーまたはプラスドライバーを使用し、トリマーを反時計回りに少し回すと、ライトバルブの明るさと位相のスワッシュが減少します。わずかに時計回りに回します。

Mini-Deja'Vibe mkII User Manual



Trimmer #2 Symmetry

オシレーターのリズム感を微妙に変化させ、適切に作られた Univibe クローンの特徴であるハートビートのようなフィーリングを微調整します。

Trimmer #3 Exp Max

注意 このトリマーは使用可能な速度範囲を決定するものであり、弊社に相談しない限り変更しないでください。このトリマーを時計回りに回すと、使用可能な最速度が増えますが、最低速度が犠牲になります。このトリマーを反時計回りに回すと、最速スピードが犠牲になりますが、より遅いスピードが得られます。このトリマーは、'vibe' でより使いやすいサウンドが得られる、最良の低速スピードが得られるように調整されています。

Mini-Deja'Vibe mkl について

「オリジナル・ユニヴァイブ」とは？ 1968 年後半から 1973 年にかけて製造された 4 ステージのフェイザー・エフェクトで、アルミの筐体の下に収められた 4 つのフォト・レジスターに白熱電球を当てることで、Leslie のロータリースピーカーを再現するように設計されている。この奇妙な回路は、ピッチベンド・ヴィブラートとコーラスのようなフェイズ・シフトを水っぽく、太く、ユニークにブレンドしたものだ。Leslie とはあまり似ていなかったが、そのサウンドは独自の生命を持ち、ジミ・ヘンドリックス、フランク・マリノ、デヴィッド・ギルモア、ロビン・トロワーの多くのレコーディングで聴かれた。

オリジナルのユニヴァイブは非常に大きく重いエフェクターで、5 ピンのクイックディスコネクト・ケーブルでモジュレーション・スピードをコントロールする外部ワウ・タイプのフットペダルに取り付けられていた。古い Univibe は、ユニットごとに非常に一貫性がなく、誤作動を起こしがちで、修理の方法はおろか、再び良い音にする方法を知っている人は誰もいなかった ... いや、ほとんど誰もいなかった。私は 80 年代から Univibe の収集、取引、修理を始め、より小さい新しいパイプ・クローンを再設計して作ることを思いつきました！それ以来、ロビン・トロワーをはじめとする多くのミュージシャンに愛用されながら、「まさにオリジナルの Univibe クローン」を作り続けてきました。

Fulltone は、カスタムメイドのオリジナル仕様の光電池を使用している唯一の Univibe クローンです。他社は、DIY ウェブサイトから不正確な光電池を購入しています。また、オシレーターと外部スピードコントローラーのスピードをコントロールするために、カスタムメイドのオプトカプラーを使用する方法を考案しました。